

No.28 MY FIELD

MY FIELDとは... 原村の地域おこし協力隊が発行するかわらばんのことです。
原村で暮らす、おもしろくて素敵なお店をご紹介します。



「焼き菓子屋 c i n q」

鎌倉 真奈美さん(32)

原村生まれ原村育ち。大学卒業後は原村図書館に勤めていたが、幼少期から好きだったお菓子作りを職業にしたいと思い始め、製菓の専門学校へ入学。現在は生まれ育った原村で小さな焼き菓子店を営み、ゆっくり丁寧に菓子作りを楽しんでいる。地元のイベントに多く出店し、今年は朝市の実行委員を務める等ご活躍されている。

店舗は土曜日（11時～18時）のみ営業。お店の詳細はHPをご参照ください → <http://cinq-5.wix.com/hara>

全ては今の私に繋がっていた
無駄なことなど何も無い

原村で生まれ育った真奈美さんは、幼少の頃から母親とお菓子を作るのが大好きだった。もともと明るい性格だった真奈美さんだが、小学5年生の時に発症した病気がきっかけで、だんだんと外へ出て人と接するのが怖くなってしまった。家で楽しめるお菓子作りを始めたという。大学卒業後は地元に戻り、働ながらお菓子教室に通い、趣味として楽しんでいたが、職業にしたいと思い始め、仕事を辞め製菓専門学校に通うことを決めた。「専門学校時代は、毎日お菓子やパンなどを作って基礎から学ぶことができ、とても充実した楽しい2年間でした。」と笑顔で当時を振り返る。

その後菓子店で働き、現在は自宅横の店舗にて焼き菓子店を営んでいる真奈美さん。「地元の素材を使うなど材料にこだわっています。大きな機械を使ったり、一度に沢山作ることにはせず、ひとつひとつ自分の手で作っています。」と話し、お客様の喜ぶ顔を思い浮かべながら丁寧に作っていることを教えてくれた。

お菓子作りは真奈美さんにとってどんなことかと尋ねると、「ずっと自分に自信が持てずいた私を強くしてくれました。お菓子を食べる喜びや友人がいるおかげで、今の自分がいま。」と話し、当時は辛かったことも全ては今に繋がっていて、無駄なことは何もないのだということも教えてくれた。

今年「原村高原朝市」の実行委員を務めている真奈美さん。「原村ならではのイベントが村内にいくつもあり、本当に魅力的な村ですよ。村の方々にも是非朝市に来ていただけたら嬉しいですよ。」と話し、普段近くで買えないものや、新しい人との出会いを楽しんでほしいと語った。「これからも自分らしく頑張りたいです」と真っ直ぐな眼差しで語ってくれた瞳に、力強さを感じた。真奈美さんに自信と沢山の人の出会いを与えてくれたcinqの焼き菓子は、正直で誠実な味がする。それはまるで真奈美さんの人柄そのものを表しているかのようだ。